



絆プロジェクトⅡ

～ 日常実践の充実を目指した教育活動へのチャレンジ ～

環境

ICT

体力向上

国際理解

キャリア

平成 29 年 5 月 22 日発行
No.1 文責 小林

キャリア

専門的な技術から視野を広げて…



先日、帯広工業高校の皆さんが、運動会に向けてのグラウンド設計にきて下さいました。

豊成小学校では、専門的な知識や技術を体感することで、将来や職業についての視野を広げ、自らの未来について考える機会を大切にしています。例年、子どもたちの感想から高校生に対する憧れの声や専門的な知識や技術に興味を抱いた様子が感じられ、これらの取組が、子どもたちにとって貴重な機会になっていることを実感することができます。

今回は、25名もの高校生が来校して下さい、設計からポイント打ちまで、丁寧に教えて下さいました。正確な測量や釘打ちの技術、そして何より優しく指導してくれる高校生の姿に、多くの子どもたちが、未来

の自分と重ね合わせ、何かを感じながら作業をしていたことと思います。

このように、本校では、地域の皆さんに協力して頂きながら、キャリア教育を推進しています。先生方にも、準備等でご協力頂くこともあるかと思いますが、子どもたちのために宜しくお願い致します。

子どもたちの感想

私は、高校生が自分から動いてみんなに指示を出して仕事をしていたのがすごいと思いました。私も最高学年として、自分から行動し、みんなを引っ張って行きたいです。 1組女子

自分は、パティシエになることが夢です。高校生を見ていて「自分の夢に近づけていいな。」と思ったので、私も高校生をお手本として夢に近づきたいです。 1組女子

みんなで協力して全部終わるように頑張ったけれど、チャイムが鳴っても終わりませんでした。自分達は、教室に戻りましたが、高校生は残りをやってくれました。私も大人になって小学生に教える機会があれば、工業高校の皆さんのように優しく丁寧に教えてあげたいです。 2組女子

高校生を見ているとカッコよかったです。ぼくも工業高校に入ってこんなことをやってみたいです。 2組男子

高校生の技術は、親切にそして、丁寧に優しく教えることと、教える時に信頼関係を少しずつ深めていくことだと思いました。この体験学習を通して、どのように、どんなことを相手に伝えると良いかということを学んだので、同じ立場になったらできたらいいなと思いました。 3組男子

一時期だけしか使わないグラウンドの設計なのに、面倒がらないできっちり正確に測っているのを見て、「自分の仕事に責任をもっているんだな。」と感じました。生徒さんたちは、優しく明るく余裕のある人達ばかりでした。私も自分の力で多くの人を笑顔にすることができるよう頑張ろうと思いました。 3組女子